



向上無限

校訓 生徒一人ひとりの可能性は無限大！



学校便り
校長 仲盛 康治
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学舎』

「ブラタモリ」は、NHKの人気番組。街歩きの達人タモリさんがブラブラ歩きながらその街の歴史や人々の暮らし、話題の出来事やいろいろな所に残された痕跡から、街の新たな魅力や歴史・文化などを再発見する内容。

城北中学校を知る～ブラナカモリ～は、それを真似て校長の仲盛が城北中の生徒や教職員、保護者や卒業生、地域関係者の協力を得て2024年に創立50周年を迎える本校の歴史やエピソードを探っていくプロジェクト！ 今後も続く予定です。

城北中学校を知る ～ブラナカモリ～



左は一九八四年の城北中（十周年記念誌表紙）旧校舎と坂道（今の夢現坂）の上あたりに向上無限の石碑が見える
右は二〇一五年（四十周年記念誌表紙）新校舎。向上無限の文字は文部科学大臣賞を受賞した本校卒業生の新城智子さん。

1974年4月 城北中学校誕生！



◀ 創立当初の新生人たち

一九七四年（昭和四九年）当時は、校舎や体育館は、完成しておらず、首里中学校の校舎を借りて始業式、入学式を実施。一・二年生は、七月まで首里中学校で、三年生はプレハブ校舎での授業だった。七月二二日に首里中学校で分離式を行った。



向上無限

校訓 生徒一人ひとりの可能性は無限大！



学校便り
校長 仲盛 康治
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学舎』

分離式での名言！「別れは、挑戦である！」 城北中の歴史が開いた感動の言葉！！

十周年記念誌にある座談会の記録では、神村義人初代校長によると城北中の創立は、とても大変だった。人口が増え続ける首里中学校の分離校をつくることは、当時の緊急課題。教育の機会均等のために早く新しい学校を！との首里に住む方々からの要請だったが、用地はあるが校舎が建っていない状況やこれまでの要請だ学校の生徒と一緒に勉強やスポーツをしてきたが分離が決定して城北中の生徒としてとしてスタートするのに違和感が出てきたり不都合なことが出てきたりしないか心配であったとのこと。

とで反対してきましたんですね。でも、子供が
このように言いますし、また、移ってきて
先生方は地域に溶け込もうと努力するし、
地域も自分達の学校をよくしようとして一生懸
命になっていましたから、結局、城北中に
移ってきて本当によかったと思っ
ころなんです。

神村校長 いまの伊狩さんの話を聞いて
思い出したんですが、一、二年生が首里中
に別かれを告げる分離式の中でですね、城
北中の代表があいさつの中で「別れは挑戦
である」といったんです。この言葉を聞いて
皆はふるい立ちましたね。首里中何する
ものぞの心意気ですよ。

伊狩前副会長 あの言葉は自然に出てき
た本心だったと思いますね。何しろ、学校
は整備されてないし、備品もない。先生方
は首里中に行ったりこちらに来たりで大変

50周年は、2024年。
皆さんへのミッション ① !
この名言を言った人を探せ！
手がかかり・・・1期生は62歳



城北中の校舎が完成するまでは、首里中学校
と城北中学校の両方で授業が進められていた。
先生方は、車で移動したり、走って移動したり
する人もいた。運動場もまだできておらず、
蛙が鳴いていた。創立当初から変わらないのは
坂道(夢現坂)